

## 2017年10月20日発表 今後の実業団リーグ

長野県実業団チームの大会目標<連盟目標>

3セット・3ポイント(S2/D1)

男子大会・全国実業団対抗テニストーナメント(兼日本リーグとの入れ替え戦)

男子目標 初戦の勝利<いまだに達成されていない>

女子大会・日本リーグ

女子目標 日本リーグ参戦<目標達成 キッセイ薬品>

(現在長野リーグは1セット5ポイントに変更されている)

1セット5ポイント or 3ポイント

男子大会・長野リーグ/実業団リーグ

男子目標 1つでも上のリーグに昇格<1つでも上のリーグ>

8ゲーム・3ポイント(S1/D2)

男女大会・ビジパル(全国実業団対抗テニス大会)

男子目標 優勝<目標達成 シメオ精密(現ツバサファイテックバイク)>

女子目標 優勝<3位まで来ている・富士通長野/長野県教職員組合>

連盟目標とチーム(特に上位チーム)の目標が違って来ている?

日本リーグがプロ化を含め川口市役所の参戦があった10数年前からはレベルがかなり向上しているため・諱(いみな)選手(三井住友)クラスの新人・ビジパル優勝を果たした伊藤兄弟選手(ルネサンス)クラスの補強が望まれるようになっている。

チームとしても、状況変化に戸惑おっているが、ほとんどのチームが新人入社まじりのままは変わらないに見え、目標が落ちてきているようにも見える。

日本リーグ参戦を目指すアース製薬

日本リーグに参戦を目指すアース製薬・松本に転勤になったF氏が東海地区から鞍替えして長野県から参加することになった、日本リーグとの入れ替え戦2回戦まで進出したチームだが実際どんなメンバーで臨むのか不明でしたので4部スタートで3部で2部昇格を決めた時点で、飛び級制度を利用し、入れ替え戦として長野リーグ9位を争っていただきました。

日本リーグに参戦を目指すのはチームからの願いで、F氏が会社側との交渉をしていくと言う形です、プロ選手を社員にして一歩前進かに見えたが、契約を目指すプロ選手の人集めの先走りに会い後退の感がありますが、当初からそんなにうまくいかない(会社説得は担当者の頑張りにかかっていると感じていました)のが常、3年間は見守る事にしていました。

9チームにしたのは日本リーグにあがる事を考えて初めたものなので、2018年3年目までは9チームで行います。

## 今後の長野リーグについて

いろいろ変化していきますので、以下の事を考えています。

- ① 長野リーグのチーム数を削減（7・6・5）
- ② 長野リーグでビジパル予選を行う、A大会（実業団対抗テニストーナメント）予選は5月以降にハードコート等で行う
- ③ 3セット目はスーパータイブレーク
- ④ 長野リーグ5チームの2部構成
- ⑤ 1部リーグと同じ1セット5ポイント
- ⑥ ・長野リーグのS1S2オーダーの県ランキング利用の是非
- ⑦ ・社員（関係会社）以外のメンバー追加の是非、ルールの明確化

## いろいろの変化

- ① 実業団チームとして日本リーグを目指す事の減退化が進みビジパルを目指すチームに特化された場合
- ② 消費税が10%になり、やまびこドームの使用料（現1日約7万6千）など上昇したのに参加料の値上げが出来ない場合
- ③ 長野リーグは1部リーグ以下のチーム参加費によって、参加費63500でも出来るように構成されています。現在のチーム数が減り、現在3部予選（5チーム）までがなりたっていますが、3部予選（4部）が出来なくなった場合

## 2018年だけ、実業団リーグの昇格/降格が変わります

### 長野リーグ

7位チームは入れ替え戦に 1部2位チームと

8位・9位チームは 1部1位チームとの入れ替え戦 or 1部に降格をかけて  
最終決定戦を行う

### 1部リーグ

順位決定戦は各組2位までで 1位・2位チームが長野リーグとの入れ替え戦に  
降格は各組7位/8位で そのうち プレーオフで1チームが1部に残留

### 2部リーグ秋（2018年・春は従来通り）

各組1位チームのみ昇格

各組5位/6位チームが降格

### 3部リーグ秋（2018年・春は従来通り）

各組1位チームは昇格

各組2位チームによりプレーオフまたは成績で1チームのみ昇格

各組5位/6位チームが降格→3部予選（4部リーグ）に出場

### 3部予選（4部リーグ）（2018年・春は従来通り）

3チームが昇格

## 2019年のやまびこドームの予約

2019年4月やまびこドーム及び周辺が・・の会場となることから使用不可、現在  
2019年に向けて3月（緑化準備を行う）のやまびこドームが使用できるよう交渉中